

福島イノベーション・コースト 構想

福島県浜通り地域等(イノベ地域[※])に関わるすべての皆さまと共に

あらゆるチャレンジに取り組み 世界に誇れるふくしまの 未来を実現します

2011年3月11日。

東日本大震災による地震・津波・原子力災害という大きな被害が起こりました。特に福島県沿岸部の浜通りを中心とした地域では、多くの方々が住み慣れた場所を離れることになり、地域の活力が大きく失われました。

それでも——

「この地をもう一度、安心して暮らせる場所にしたい」
「未来に希望をつなぎたい」

その想いを実現するために立ち上がったのが、
国家プロジェクト『福島イノベーション・コースト構想(福島イノベ構想)』です。

大きな被害を受けたこの地域に、新たな産業基盤を築くため、廃炉、ロボット・ドローン、エネルギー・環境・リサイクル、農林水産業、医療関連、航空宇宙の各分野で様々な取組が進められ、新しい産業や技術が生まれています。

ここから生まれるイノベーションが、福島を、日本を、そして世界をより良い未来へと導いていく。
福島イノベ構想は、皆さまとともに、「世界に誇れるふくしま」の実現を目指していきます。

未来へ。

この地の挑戦が、新しい歩みをつくっていきます。

※福島県浜通り地域等15市町村(いわき市、相馬市、田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、新地町、飯館村)を指して「イノベ地域」と呼びます。



未来をつくる挑戦が集まる場所

この地域には、福島ロボットテストフィールド(RTF)、福島国際研究教育機構(F-REI)など、新しい挑戦を支える拠点が集まっています。様々な分野で研究や実証が進み、新しい産業や技術が生まれています。



目指していく姿

福島イノベ構想では、実証の聖地として新たな挑戦が生まれる環境づくりや産業集積を進め、次世代の人材を呼び込みながら、課題解決や事業化へと発展させることを目指しています。そして、それらの成果を地域の発展につなげていくことが重要です。



福島イノベ構想の取組の3つの柱

① あらゆるチャレンジが可能な地域

新しい挑戦に取り組める環境づくりを進めています。

② 地域の企業が主役

地域企業が中心となり、研究開発や実証の成果を事業展開につなげられるよう、環境整備を進めています。

③ 構想を支える人材育成

次世代を担う若い世代や技術者の育成に取り組んでいます。

取組を加速するための3つの視点

地域との更なる共創・共生

① 地域の稼ぎ

地域の実情や時代の変化を踏まえつつ、地元企業の皆さまとも連携し、県内全域に広がるサプライチェーンの構築を目指します。

② 日々の暮らし

福島イノベ構想の成果を、住民の皆さまに“見える形”でお届けし、暮らしの利便性や安心の向上につなげます。企業が地域の一員として、地域づくりへの参画や社会貢献を進めます。

③ 担い手の拡大

次世代を担う人材育成を強化し、さらに、芸術・文化など地域ならではの魅力も発信し、新たな活力を呼び込みます。



どんなことに取り組んでいるの？

下の6つを重点分野と位置付け、福島イノベ機構、国、福島県、市町村等が連携しながらそれぞれの主要プロジェクトの具体化や、産業集積、教育・人材育成、交流人口の拡大などに向けた取組を進めています。



福島イノベ構想を実現するために 福島イノベ機構では 様々な取組を行っています！



6つのプロジェクト

PROJECT 1 廃炉

国内外の英知を結集した技術開発

出典：東京電力ホールディングス

詳しくは P7

PROJECT 2 ロボット・ドローン

福島ロボットテストフィールドを中核にロボット産業を集積

福島ロボットテストフィールド (RTF)

詳しくは P8

PROJECT 3 エネルギー・環境・リサイクル

先進的な再生可能エネルギー・リサイクル技術の確立へ

福島水素エネルギー研究フィールド

詳しくは P9

PROJECT 4 農林水産業

ICTやロボット技術等を活用した農林水産業の再生

アグリ・コア棟

詳しくは P10

PROJECT 5 医療関連

技術開発支援を通じ企業の販路を開拓

ふくしま医療機器開発支援センター

詳しくは P11

PROJECT 6 航空宇宙

次世代モビリティ、ロケット開発関連企業の集積促進

AstroX棟

詳しくは P12



5つの取組



産業集積

起業から実用化・開発、立地まで一貫支援

Fukushima Tech Create 成果発表会

詳しくは P13~

教育・人材育成

イノベ地域の未来を担う若い力を育てる

食と農の体験スクール(相馬市立飯沼小学校×東京農業大学)

詳しくは P17~

交流促進

福島イノベ構想に共感する人々の輪を広げる

県外の若者とイノベ企業のマッチングフェス

詳しくは P19

情報発信

福島イノベ構想の認知度アップで参画を促進

福島イノベ構想シンポジウム

詳しくは P20

拠点施設の管理運営

東日本大震災・原子力災害伝承館

福島ロボットテストフィールド

ふくしま12市町村移住支援センター

詳しくは P20

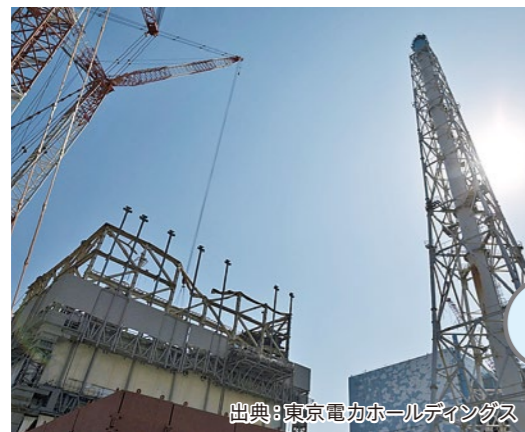
詳しくは P22

詳しくは P19



PROJECT 1

廃炉



出典：東京電力ホールディングス

国内外の英知を結集した 技術開発

POINT

安全な廃炉に向けて、様々な技術の開発や実用化を進めています。



PROJECT 2

ロボット・ドローン



福島ロボットテストフィールド (RTF)

福島ロボットテストフィールド (RTF) を 中核にロボット産業を集積

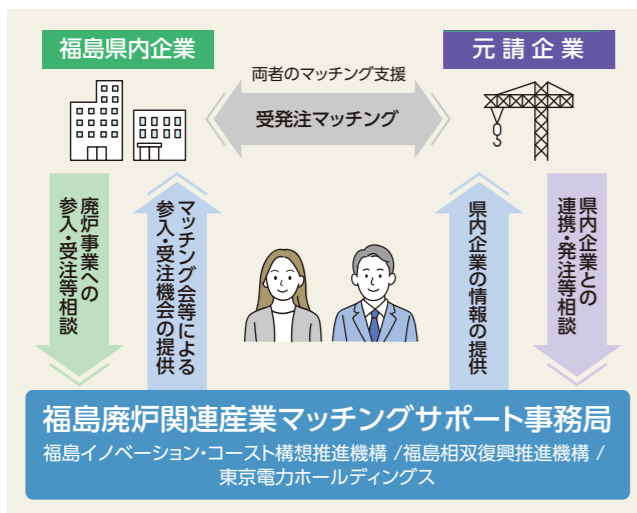
POINT

様々な環境を再現し、ロボットやドローンの実証試験や開発が行われています。



RTF公式キャラクター「ロフェィ」

廃炉に関する仕事を始めたい企業のサポートをしています



マッチングサポート事務局は、廃炉事業に関心がある地元企業の参入・事業拡大を支援する相談窓口です。

マッチング機会提供

県内企業との協働を考えている元請企業や廃炉事業に参入したい県内企業にマッチング機会を提供しています。

スタディツアーの開催

福島第一原子力発電所や廃炉事業取組企業の現場視察、廃炉事業の理解を深める講義等を行っています。

交流会の開催

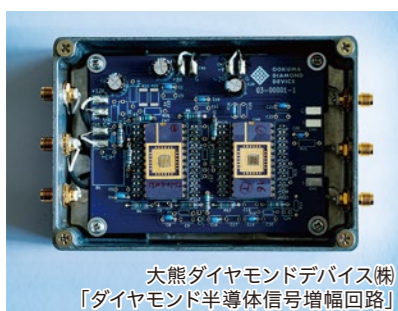
県内企業と東京電力や元請企業との相互理解促進のための交流会を開催しています。

技術力向上に向けた支援

県内企業の技術力向上のため、従業員の資格や企業の認証等取得の費用を補助しています。

廃炉作業に必要な技術開発支援や人材の育成を行っています

企業の参画促進



大熊ダイヤモンドデバイス㈱「ダイヤモンド半導体信号増幅回路」



マツハコーポレーション㈱「耐放射線カメラ」

廃炉の人材育成



全国の高専生が参加する廃炉創造ロボコン

ロボットが当たり前にある環境を作っています

実証等の成果を生活の向上や社会課題の解決につなげています

RTFの活用をきっかけに、これまでに81社(2025年12月時点)のロボット関連事業者が新規進出しました。



㈱ハマ 飛行艇型 UAV「HAMADORI」



㈱manisonias 鳥獣害対策ドローンFUGA

地域へ還元

地域住民等、一般の方々を対象としたイベントを開催し、地域の賑わいを創出しています。



ロボデスフェスタ2025



イベントにて公式キャラクター「ロフェィ」と記念撮影



RTFは、インフラや災害現場などを再現した環境で、災害対応、物流などのロボットの性能評価や操縦訓練等ができる、世界に類を見ない一大研究開発拠点です。

詳しくはP22をご覧ください。



PROJECT 3

エネルギー・環境・リサイクル



福島水素エネルギー研究フィールド

先進的な再生可能エネルギー・リサイクル技術の確立へ

POINT

持続可能な社会の実現に向けて、先進的な技術開発を推進しています。



PROJECT 4

農林水産業



アグリ・コア(株)

ICTやロボット技術等を活用した農林水産業の再生

POINT

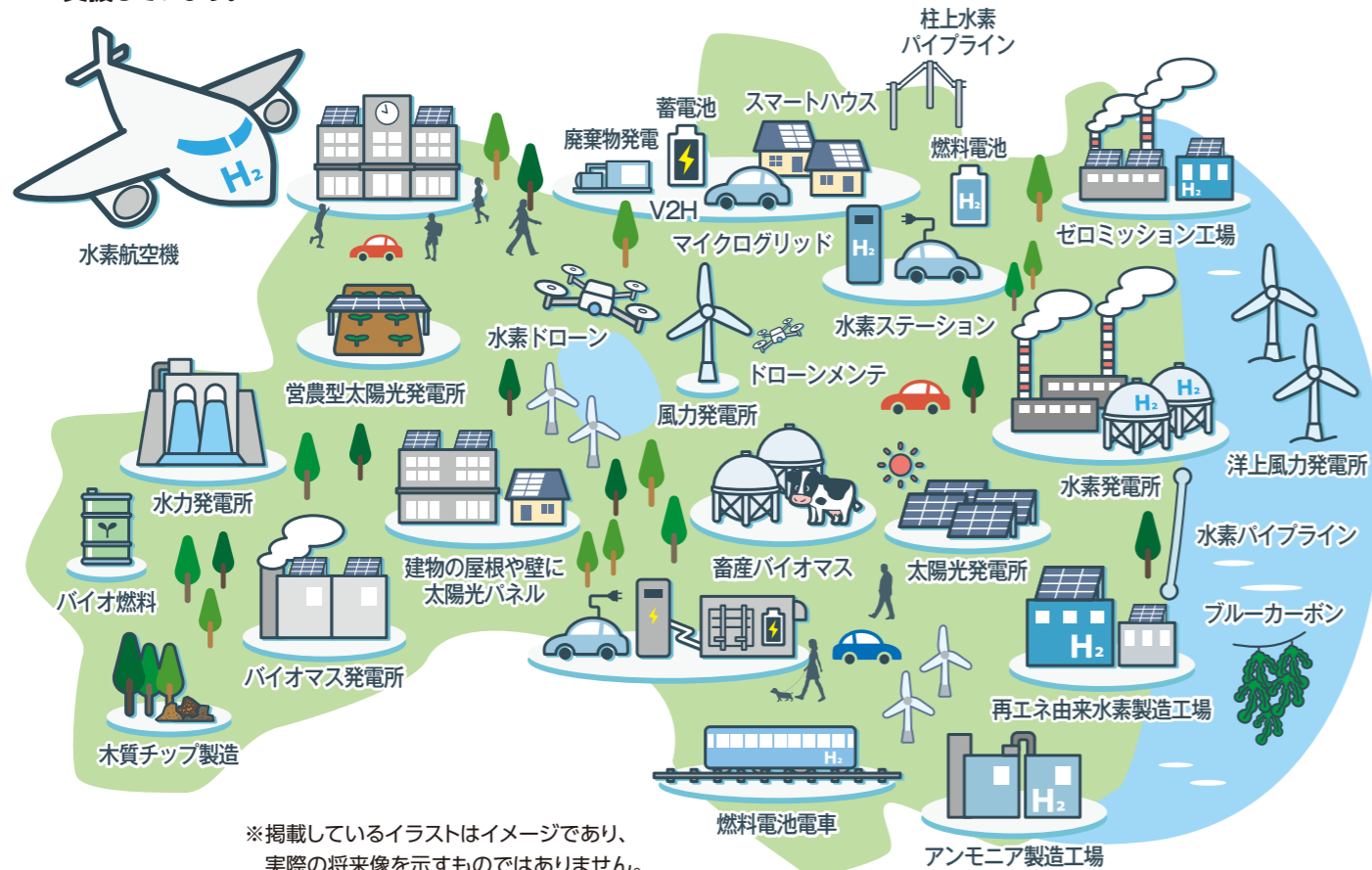
デジタル技術などを取り入れた新しい農林水産業の技術開発が進められています。



再エネ・水素等関連産業を活かし好循環モデルをつくります

持続可能なエネルギー社会

再生可能エネルギー、水素関連産業の育成・集積を進めるため、新規参入・人材育成・研究開発・事業化などの取組を支援しています。



※掲載しているイラストはイメージであり、実際の将来像を示すものではありません。

広い地域での産地作り、参入を支援しています

ドローン等のICT技術の活用や担い手不足への対応を促進

イノベ地域で農業をはじめませんか

たくさんの企業等がイノベ地域へ参入し農林水産物を生産しています。





PROJECT 5

医療関連



ふくしま医療機器開発支援センター

技術開発支援を通じ 企業の販路を開拓

POINT

病院や介護施設等で役立つ医療機器の技術開発が行われています。



PROJECT 6

航空宇宙



次世代モビリティ、ロケット開発 関連企業の集積促進

POINT

高付加価値産業として、地域の稼ぐ力を高めます。



医療関連産業の集積等に向けた支援をしています

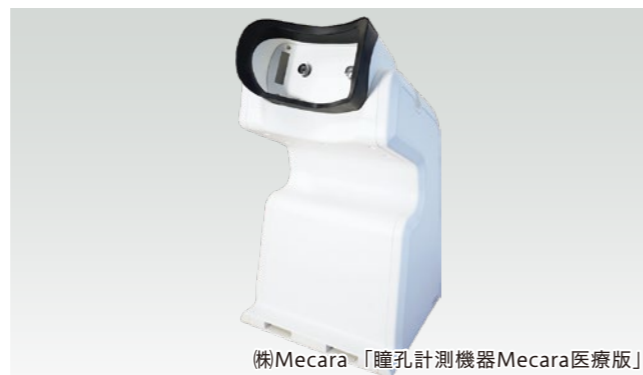
医療機器の開発から事業化までを支援



ふくしま医療機器開発支援センター

医療機器の安全性試験、コンサルティング、マッチング、人材育成・トレーニングなど、様々な支援をしています。

医療関連企業を惹きつける環境



(株)Mecara「瞳孔計測機器Mecara医療版」

ふくしま医療機器開発支援センターや福島県立医科大学、自治体などの手厚いサポートのもと、医療関連産業の集積が進んでいます。

取組事例紹介

メディカルクリエーションふくしま 最新医療機器の展示、医療機器業界の各種セミナーを企画・開催しています。



リスク計測テクノロジーズ(株)ブース



航空宇宙関連産業への参入企業を支援しています

福島ロボットテストフィールドを活用した取組

空飛ぶクルマや環境試験技術の確立への取組を、ロボットの一大開発実証拠点である福島ロボットテストフィールド(RTF)で行っています。



ARES Projectと会津大学、RTFでのクレーター探査の共同実証



RTFでZERO衛星フェアリングの分離放てき試験を実施 インターステラテクノロジズ(株)

イノベ地域は宇宙スタートアップ挑戦の地



小型人工衛星打上げロケットZERO インターステラテクノロジズ(株)



空飛ぶクルマ「Mk-7」 テトラ・アビエーション(株)

挑戦する企業への支援や人材確保・育成の取組等により、サプライチェーンを強化しています。

Industrial Agglomeration 産業集積

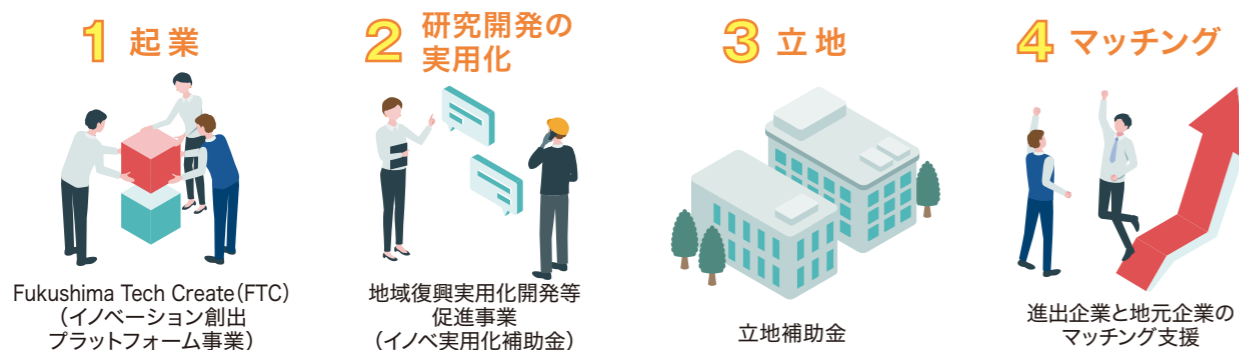
イノベ地域で、新しい産業の集積や地域産業の復興を目指して、企業の進出を促進し、地元企業との交流やビジネスマッチングを進めています。



ステージに応じ、新たな挑戦を支援

地元企業の技術やノウハウを福島に未来に!

起業から開発・実用化、立地など、各事業ステージで使える支援制度の一部をご紹介します。



イノベ地域でステップアップした企業の事例

Case1:大熊ダイヤモンドデバイス株式会社

<p>1 起業</p> <p>Fukushima Tech Create</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2022年度 半導体製造プロセスにおける自動洗浄装置を開発 	<p>2 研究開発の実用化</p> <p>地域復興実用化開発等促進事業(イノベ実用化補助金)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2022~2024年度 ダイヤモンド半導体デバイスを開発 ●2025年度~ 圧力容器内調査用検出器および耐放パッケージング技術を開発 	<p>3 立地</p> <p>自立・帰還支援雇用創出企業立地補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2026年度 大熊町に世界初となるダイヤモンド半導体工場を新設予定
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

Case2:株式会社manisonias

<p>1 起業</p> <p>イノベのたまご</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2023年度 女性起業家部門最優秀賞受賞 	<p>2 研究開発の実用化</p> <p>Fukushima Tech Create</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2024年度 農業用見守りドローンを開発 	<p>3 立地</p> <p>地域復興実用化開発等促進事業(イノベ実用化補助金)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2025年度~ 中山間地域における物流と災害対応実現のドローン開発および地域上空Wifi網構築インフラの開発
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

Fukushima Tech Create (FTC)

イノベーション創出プラットフォーム事業

イノベ地域等で「起業・創業」にチャレンジしよう



— スタートアップがイノベ地域等を舞台に夢の実現に向けてステップアップしています —



A スタートアップツール

●全国の優れた技術シーズを持つスタートアップ、起業準備者、投資家を対象に、イノベ地域の魅力を体感する1泊2日のツアー。「福島イノベ構想」の紹介や、先行する起業家・コミュニティの訪問を通じ、この地域で挑戦している情熱あふれる人々と出会い、刺激と感動を味わってもらい、新たなスタートアップ呼び込みにつなげます。

実績 ■実施:年3回 ■参加者:130名(2023年度~)



B ビジネスアイデアコンテスト イノベのたまご

●技術シーズや新しいビジネスアイデアを持った、今後活躍が期待できる起業家志望の「若年層」と「女性起業家」を対象を絞った、特色のあるビジネスアイデアコンテスト。ファイナリストの中から2名を海外の教育機関等に派遣しプレゼンテーションを含めた交流を行い、新たなスタートアップ呼び込みにつなげます。

実績 ■参加者:72名 [うちFTCプログラムへの挑戦] ■応募:4件 ■採択:3件(2023年度~)

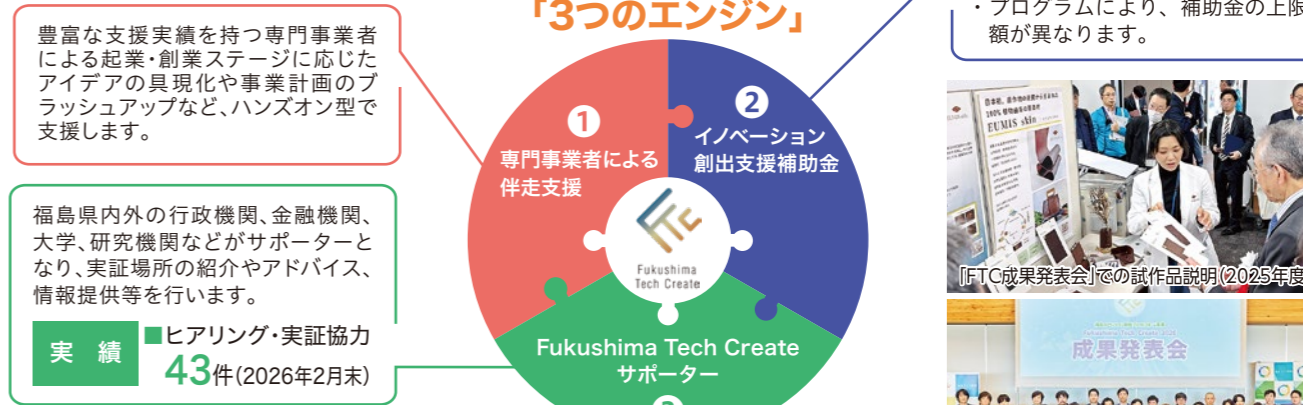


C Fukushima Tech Create (FTC) イノベーション創出プラットフォーム事業

毎年4月に募集、支援期間は6月下旬~翌年1月中旬

●イノベ地域において起業・創業を目指す優れた技術シーズを全国から発掘し、事業化に至るまでの様々な支援を行う「Fukushima Tech Create(FTC)」を2020年度より開始。

イノベ地域での起業・創業を支援する「3つのエンジン」

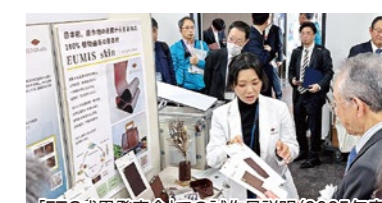


補助上限最大1,000万円
・試作品の開発や実証などの費用を補助します。
・プログラムにより、補助金の上限額が異なります。

豊富な支援実績を持つ専門事業者による起業・創業ステージに応じたアイデアの具現化や事業計画のブラッシュアップなど、ハンズオン型で支援します。

福島県内外の行政機関、金融機関、大学、研究機関などがサポーターとなり、実証場所の紹介やアドバイス、情報提供等を行います。

実績 ■ヒアリング・実証協力 43件(2026年2月末)



●FTC支援の終盤には、事業パートナーや融資獲得等を目指して、投資家、金融機関、事業会社等に向けてピッチやマッチングを行う、「FTC成果発表会」を実施。

実績 ■支援:223件 ■FTC採択後→イノベ地域での起業/拠点設置:28件 (2020年度~2025年度)
■FTC終了後→福島県の地域復興実用化開発等促進事業に採択/9件

D 地域復興実用化開発等促進事業(詳しくはP15)

研究開発の実用化の支援

福島県の「地域復興実用化開発等促進事業」に採択された企業等に対して、実用化・事業化に向けた支援を行っています。

福島県の補助金制度「地域復興実用化開発等促進事業」(通称「イノベ実用化補助金」)

▶イノベ地域で、福島イノベ構想重点6分野を対象に実用化開発に取り組む企業を支援



▶補助率
中小企業：2/3 (3/4※)
大企業：1/3 (1/2※)
※地域課題解決枠

1プロジェクトあたり
上限7億円

▶対象経費
施設工事費、機械設備費、人件費、外注費、委託費等に必要経費

実用化・事業化に向けた具体的な支援

事業化促進支援

200社
228テーマ
を支援
(2017年度～2025年度)

知的財産の出願や調査の支援 (特許・商標・意匠)

■出願：92件
■査定：58件
(2019年度～2025年度)

企業・自治体とのマッチング

■面談：517件
■取引成立：64件
■自治体等への繋ぎこみ：58件
(2018年度～2025年度)

展示会出展の支援



ピッチイベント



メディア発表会



福島イノベーション・コースト構想への参画促進

福島イノベ構想をより身近に感じていただき、その取組を県内全域に広げていくため、県内各地でのセミナー開催や企業訪問、マッチングなどを行っています。

セミナーの開催



個別企業訪問(ヒアリング)

■訪問企業：121社
■引き合わせ：29件
(2024年度～2025年度)

ビジネスマッチング



企業誘致

県外企業等のイノベ地域への企業立地を目的として、産業ポテンシャルや各種優遇制度を紹介するセミナー、産業団地を巡る現地見学ツアーや個別現地案内等を実施しています。



1 企業立地セミナー



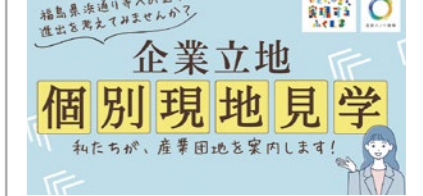
企業立地セミナーの様子はこちら



2 現地見学ツアー (産業団地プロモーション動画)



3 個別現地案内 (自治体職員との紹介など)



4 イノベ地域への立地を支援

「立地補助金」等の活用により、最大で初期投資額の5分の4を支援します。



農業参入支援

地域農業の再生を図るため、企業等の農業参入に向け、現地見学ツアー、農業参入セミナー、参入相談、個別現地案内、情報発信などを実施しています。また、調査・試験栽培等に要する経費に対して助成金を交付しています。

現地見学ツアー



企業等農業参入セミナー



農業参入相談会



イベントへの出展



個別現地案内



Education / Human Resource Development

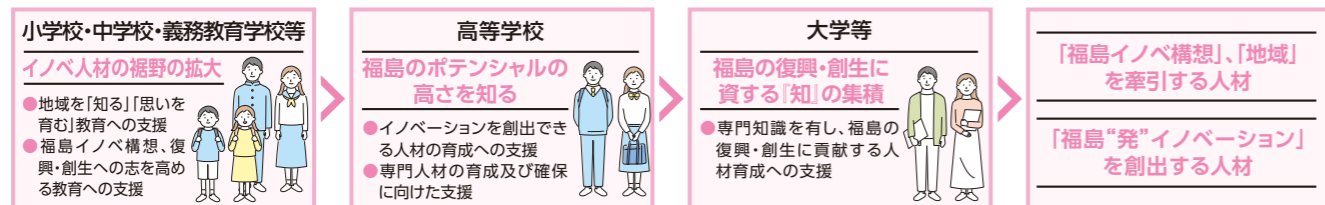
教育・人材育成



イノベ地域で行われる大学等の教育研究活動を活性化し、成果を地域に還元する取組を進めています。また、学校や企業、高等教育機関が連携してキャリア教育を実施し、イノベ地域の復興を担う志ある若者を育成していきます。

イノベ教育

成長段階に応じ、企業や研究機関と連携した出前授業や視察研修、実習を通じて「福島イノベ構想」を担う人材を育成。さらに探究活動で地域や世代を越えた協働、新技術や価値創造を学び、「イノベ地域」や「福島」の良さを理解し、社会課題を解決できる人材を育てる教育です。



イノベの教育SNS

福島イノベ機構の教育分野の取組を発信する公式アカウントです。「イノベーションは「人」から始まる」をコンセプトにイノベ地域の復興の核となる若い力を育成しています。



小学校・中学校等への支援

福島イノベ構想の実現に貢献する人材の裾野を広げるため、小・中学校等の段階から「地域理解」や「地域への思い」を育む教育を支援。

福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会事業

双葉郡の8つの町村が連携して取り組む探究的な学習「ふるさと創造学」等の実施を支援しています。



HPはこちら



避難地域12市町村における小中学校教育等推進事業

避難指示が出た12市町村の教育委員会等が行う“ふるさとに根ざした魅力ある学校づくり”や学校教育の充実を目指し、教職員の教育活動の支援に取り組んでいます。



浪江町立なみえ創成小学校でのふるさと体験学習「郷土料理を作って試食しよう」



少人数教育に対応した教授法に関する教員研修会

福島県全域・全校種に対する教育支援

ふくしまイノベ未来講座

福島イノベ構想に関連した有識者を招く出前講座を実施。福島国際研究教育機構(F-REI)との連携により、最先端研究や学術分野に触れる学びの機会を設けています。

相馬市立中村第一中学校 × (株)福島三技協
「ドローン点検の最前線とプレーヤーとして大切なこと」

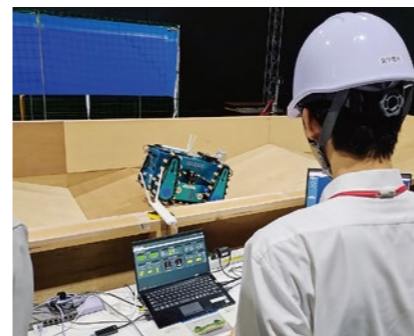


県立磐城高等学校 × F-REI
「パワーソフトロボティクス」

高等学校・高等教育機関でのイノベ教育

福島イノベーション人材育成支援事業

高等学校では、福島イノベ構想を担う人材育成のため、企業、大学、研究機関と連携して、最新技術、課題解決の取組等を学ぶ講義や実地研修等を行う実践的な教育プログラムを支援しています。



県立磐城高等学校 × 榎葉遠隔技術開発センター
先端技術を学ぶイノベーションツアー



県立相馬農業高等学校 × ヤンマーアグリジャパン(株)
ロボットトラクタについて学ぶ講習会

福島イノベ構想推進産業人材確保事業

工業高校生及び県内大学生等を対象に地元企業の見学会や出前授業の取組等を支援し、地元就職を促進する人材確保を目指しています。



県立平工業高等学校 × 遠野興産(株)
バイオマス発電で使用する木質ペレットの工場見学

大学等の教育研究活動への支援

大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業

全国の大学等が有する福島復興に資する知である「復興知」を活用し、地域課題を解決する人材の育成やイノベ地域でのフィールド活動を通じた人材育成に関する活動を支援。2021年度から5か年事業として17大学等・21事業を実施しています。

「復興知」事業成果報告会・学生ワークショップ

採択大学等の教育研究活動を広く発信するため、2025年度成果報告会を大熊町で開催。翌日にはワークショップも実施し、採択校の学生70名が参加しました。



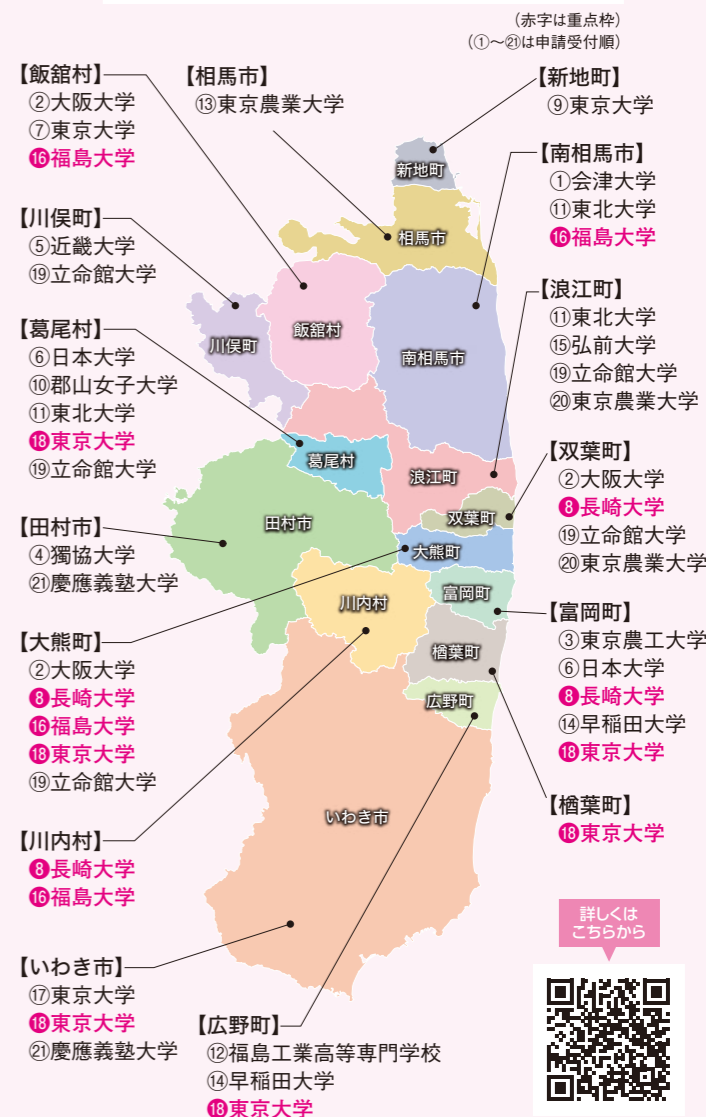
富岡町の営農再開農家の圃場で取り組む水稲バイオマス生産について説明する東京農工大生▶



「「復興知」を語ろう」と題した学生ワークショップ▼



2025年度大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業採択大学等一覧



詳しくはこちらから



Expansion of Exchange Population

交流促進



イノベ地域に人を呼び込むために、魅力あるコンテンツづくりや大学への出前講義による理解促進などを通じて、多様な人々との関わりを広げています。

地域の価値向上に向けたブラッシュアップ事業



欧州の工学系大学院生とチームでエネルギーに関するビジネスプランを研究・検討するため、実際にイノベ地域でフィールドワークを実施。

連携事業者 (株)Rurio



浜通り地域等を知るために、起業家・地域の方との対話を実施し、今後同地域への関わりや取組を明確化・プロジェクト化するツアーを実施。

連携事業者 (一社)ふくしま部

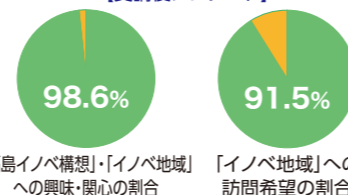
大学等との連携



福島イノベ構想の次世代の担い手となる大学生等を対象に、地域で活躍する事業者等を講師として招き、イノベ地域への興味・関心を高める出前講義を全国の大学等で実施。

実績

2025年度	出前講義: 26回
	受講人数: 約2,400名
全国24大学等で実施	



ふくしま12市町村移住支援センター

東京電力福島第一原子力発電所の事故により避難指示等の対象となった12市町村への移住・定住を促進するため、様々な事業を実施しています。

移住ポータルサイト「未来ワークふくしま」の運営

移住を伴う求人掲載と企業のサポート

住宅支援

移住促進のイベント開催

起業・開業に関する相談

移住支援・移住者の定着支援

ふくしま12市町村 移住支援センター
 所在地/〒979-1111 福島県双葉郡富岡町小浜字中央295
 TEL/0240-23-4315(代表)
 移住相談ダイヤル 0800-800-3305 (受付時間 8:30~17:00) ※土日祝日・年末年始除く
 ✉ iju-shien@fipo.or.jp



Dissemination of Information

情報発信



福島イノベ構想の認知度を向上させ、参画を促進するための様々な情報発信を行っています。

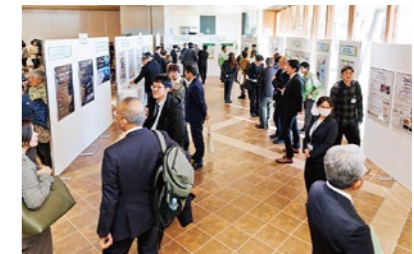
地域住民向けセミナー



福島イノベ構想見える化セミナー

福島イノベ構想を身近に感じられる体験活動等を通じて、構想への理解、興味・関心を高めるセミナーを実施。

福島イノベ構想シンポジウム



シンポジウムの開催

福島イノベ構想の進捗状況を知っていただき、今後の取組について共に考えるシンポジウムを開催。

〈施設の管理運営〉東日本大震災・原子力災害伝承館

福島で起きた地震、津波、東京電力福島第一原子力発電所の事故という未曾有(みぞう)の複合災害の実態や、復興に向けた歩みを展示。被災した住民の語り部講話も実施しています。



<h3>プロローグ</h3>	<h3>災害の始まり</h3>	<h3>県民の想い</h3>	<h3>復興への挑戦</h3>
----------------	-----------------	----------------	-----------------

東日本大震災・原子力災害伝承館
 所在地/〒979-1401 福島県双葉郡双葉町大字中野字高田39
 TEL/0240-23-4402 ✉ archive@fipo.or.jp
 開館時間 9:00~17:00 (最終入館16:30)
 休館日 火曜日(火曜日の場合は翌平日)・年末年始(12/29~1/3)





F-REIは、福島をはじめ東北の復興を実現するとともに、日本の科学技術力・産業競争力の強化に貢献する、世界に冠たる「創造的復興の中核拠点」として、国が2023年4月に設立した特殊法人です。福島の優位性を発揮できる5つの研究分野において、福島や世界の課題解決に向けた研究開発等に取り組んでいます。F-REIには、福島イノベーション構想を更に発展させる役割も期待されています。

F-REIが取り組む5分野の研究開発

- ① ロボット
- ② 農林水産業
- ③ エネルギー
- ④ 放射線科学・創薬医療、放射線の産業利用
- ⑤ 原子力災害によるデータや知見の集積・発信

F-REIの施設整備



▲地区北東側(上空)から見た外観

<日建設計・日本設計・パシフィックコンサルタンツ設計共同体提供>
※イメージパースであり今後の設計で変更となる可能性があります



▲研究交流スペース



▲中央広場

研究を加速させ、地域交流も創出

F-REIでは現在、2030年度末までの順次共用開始を目指し、国が施設整備を進めています。建設予定地は、JR浪江駅の西側に広がる約16.9haのエリア。この場所に、国内外の優れた研究者や企業・大学等が集い、分野横断的で活発な研究開発が行われるように、研究者同士が日常的な交流を行う「研究交流スペース」を設けるなど、魅力的な環境を整えるとともに、地元根差した親しみのある施設を目指しています。

敷地内には地域の方々が気軽に立ち寄れるオープンスペースとしての「中央広場」や、研究者や企業・大学等の交流を促す、「産学連携交流スペース」等も整備予定です。

福島国際研究教育機構(F-REI)

所在地/〒979-1521 福島県双葉郡浪江町大字権現堂字矢沢町6-1
TEL/0240-41-9970



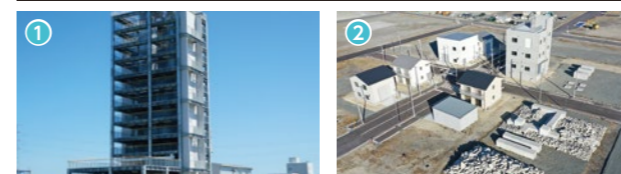
RTF公式キャラクター「ロボティ」

福島イノベーション構想に基づき整備された「福島ロボットテストフィールド(RTF)」は陸・海・空のフィールドロボットの一大開発実証拠点です。インフラや災害現場など実際の使用環境を再現しており、ロボットの性能評価や操縦訓練等ができる世界に類を見ない施設です。

福島ロボットテストフィールド(RTF)の全体像



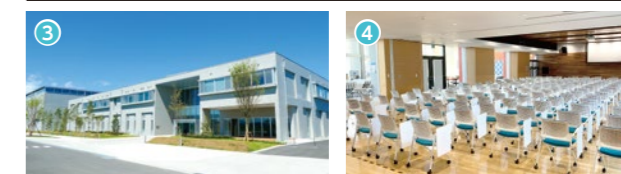
あらゆる災害環境、老朽化を再現 インフラ点検・災害対応エリア



ダム、河川、水没市街地、港湾等を再現 水中・水上ロボットエリア



試験の準備や活動拠点 開発基盤エリア



国内最大の飛行空域を備える 無人航空機エリア



- インフラ点検、災害対応、物流などの分野で使用される陸・海・空のロボットの研究開発や操縦訓練等を行うRTFを福島県が南相馬市および浪江町に整備
- 福島イノベーション機構が管理
- 2020年3月に全面オープン(2018年7月の通信塔供用を皮切りに21施設)
- 2025年2月「ISO9001:2015」更新(2022年2月初回認証取得)
- 2025年6月RTFのF-REIへの統合に関する基本合意書を締結

福島ロボット テストフィールド

所在地/〒975-0036 福島県南相馬市原町区萱浜字新赤沼152番55
TEL/0244-26-3431
受付時間 9時~17時(土日祝日・年末年始除く)
✉ robot.info@fipo.or.jp

